

各位

社長会見を開催しました

昨日7月17日14時より社長会見を開催し、弊社子会社の毎日放送代表取締役社長の虫明洋一とともに、当社代表取締役社長の高山将行が出席しました。記者会見での発言概要は、以下の通りです。

【MBSメディアホールディングス たかやままさゆき 高山将行社長】

社長就任からちょうど2年になります。

いろいろな環境が厳しい中ですが、グループ各社が持ち味発揮していて、自由な感じで挑戦していて、グループにあってもMBSらしいなと感じています。

今年は、ホラー関連エンタテインメントの「株式会社 闇」を子会社化しましたし、SkyシアターMBSが開業しましたし、MBS企画が制作した映画『あまろっく』が公開されました。『あまろっく』はなかなかのスマッシュヒットで、告知にご協力頂きました記者のみなさまに改めて御礼申し上げたいと思います。

ここまでグループの方針は「放送」「コンテンツ」「新領域」の3本柱でやってきましたが、この方針をさらに発展させていきたいと思っています。

【毎日放送 むしあきよういち 虫明洋一社長】

社長就任から丸3年経ち4年目に入りましたが、ようやくタイムテーブルが落ち着いた状態になりました。これから各番組が定まった場所で数字を上げていく、そういうタイミングに入ったと思っています。

土曜日の午前から夕方視聴率は安定しており、月曜から金曜午後のよんちゃんTVもおかげさまでいいポジションになってきています。それぞれの場所で視聴者の皆さんに可愛いがって頂けるタイミングに入ったかと思っています。

また、アニメとかドラマ関連で言いますと、6月8～9日に茶屋町一体で『ちゃやまち推しフェスティバル』というコンテンツのお祭りを開催し、2日間で12万3000人ほどの方々に来ていただきました。今年で2度目の開催ですが、去年より5000人ほど増え、茶屋町界隈が若い人の雰囲気になりました。

こうしたコンテンツ系の売り上げも上げていけない、レギュラー番組の視聴率の向上、コンテンツ系深夜のアニメ・ドラマにも力入れていきたいと思っていますとございます。

【主な質疑応答】

Q:3月にオープンしたSkyシアターMBSですが、これまでの手応えと今後何か取り組みたいこととか、今後の課題等があれば教えてください。

A: 3月27日のオープンから数えてきょうまでで、14演目90ステージ公演で延べ10万人を超える皆様に御利用いただきました。劇場運営の最終経営判断が4年前、2020年の7月でした。当時は不要不急のことはやめましょうということで、エンタメも不要不急の扱いをされていたと記憶しております。そんな中で計画を立てていましたので非常に安堵しているというのが正直なところです。

次に課題ですが、まずはこの1年間、つつがなく運営をすることだと思っています。我々は長い間、劇場を続けたいと思っていますので、そのサステナビリティのためにも、やはりこの1年間はちょっと引き締めてやっていきたいと思っています。また、劇場の名前について「Skyシアター」で終わることなく、MBSを忘れられないように存在感を出せるようにしたいと思います。

駅から近いですし、万博が開催される来年に向けて外国からの観光客が増えてくると思いますので、関西だけではなく広いエリア、あるいは外国の方にも楽しんでもらえるような作品で利用して頂けたり、企画にコミットできたらなと思っています。

以上

本件問い合わせ先:コンプライアンス局 広報部